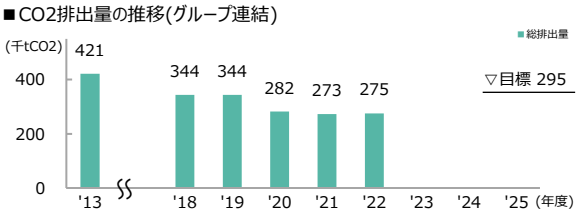
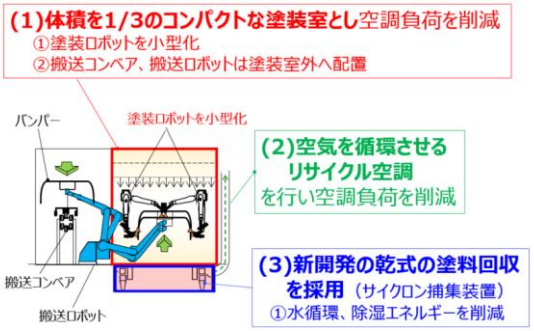
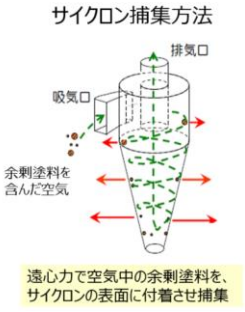
■脱炭素社会の構築　取り組み状況・実績

新車CO2ゼロチャレンジ

	2025目標	主な取り組み実績
新車平均CO2排出量の削減	●トヨタの環境戦略に準拠した車両の開発	●構造合理化や軽量高強度材への置き換えによる軽量化を実施 ●新車平均CO2排出量に対して、環境性能の向上および電動車ラインナップの拡充を推進
電動車の普及	●超小型BEVの普及に向けたコムスの商品開発	●BEV※1：超小型電気自動車コムスはCO2を出さない再生エネルギー電力100%で生産 2012年からの累計生産台数 1 万台を達成 ●HEV※2：アルファード、ヴェルファイア、ノア、ヴォクシーを生産し、2022年度HEV生産台数は13万3千台、累計生産台数233万4千台を達成 超小型電気自動車 コムス ノア ※1 BEV：Battery Electric Vehicle（バッテリー式電気自動車）　※2 HEV：Hybrid Electric Vehicle（ハイブリッド自動車）

工場CO2ゼロチャレンジ

	2025目標	主な取り組み実績
生産活動におけるCO2排出量の削減	●2013年度比▲30%※3 ※3 自社+国内外連結子会社(生産系)	**実績推移**　22年度の特徴：コロナ禍、部品不足による生産台数の減少  ●樹脂塗装ラインの更新に合わせた革新技術の導入によりエネルギー使用量を従来比▲55%削減   ●コロナ禍で生産不安定のなか、非稼働時間帯における設備の徹底停止など、日常改善による省エネを実施
再生可能エネルギーの導入	●太陽光発電による再生可能エネルギーの導入	●太陽光発電の各工場等への設置累計をグループ連結で9,065kW（22年度単年2,594kW）に拡大 ●2022年11月からBEVを生産する刈谷工場、2023年4月からレクサスを生産する吉原工場の使用電力を100%再生可能エネルギー由来の電力に切り替え いなべ工場建屋への太陽光パネル設置状況